



「CS」は、コミュニティ・スクールの略称です。

若基小CSだより

第5号 令和4年2月14日

文責 久保山 紀陽子



「第5回学校運営協議会」を開催しました

2月9日（水）に今年度最後となる5回目の「学校運営協議会」を開催しました。今回は、来年度の学校支援の方向性と学校評価について協議をしました。



■ 来年度の学校支援の方向性

今年度は、学習支援の初年度でした。各学年の先生方に学習支援をお願いしたい学習内容を調査し、その後、学校運営協議会委員の皆様へ地域の方とつないでいただき、10月頃から学習支援を始めました。今年度、実施した学習支援は以下の4つです。

○5年 家庭科「ソーイング はじめの一步」

10月下旬から11月中旬にかけて5回来校していただき、ミシンの使い方を教えていただいた。

○6年 家庭科「献立を工夫して～チャレンジコーナー～」

11月9日に実施。基山町の特産物を使った料理や基山町の郷土料理について教えていただいた。

○5年 学級活動「情報教育」

12月13日に実施。ネット依存や健康被害など、情報モラルについて話をしていただいた。

○1・2年 生活科「むかしからつたわるあそびをたのしもう」

12月中旬に2回来校していただき、お手玉、かるた、けん玉、竹馬、こまなどの昔遊びのやり方を教わったり、一緒に遊んだりしていただいた。

今年度の活動を振り返り、学校運営協議会委員の皆様からは次のようなご意見をいただきました。

- ・ゲーム依存についての話はとても良かった。質問されたことに対して、子供もよく考えていた。
- ・地域の方にミシンの手伝いに行っていることを話したら、ミシン縫いも大切だが手縫いが基本という声があったので、来年度は手縫いとミシン縫いの両方の手伝いができればよいと思う。
- ・登下校の見守りをしている時に、教えていただいたお礼を伝えてくれるとともに、完成した作品を見せてくれて嬉しかった。
- ・基山町の食材を使った料理や郷土料理の話は、大人でも知らないことが多く興味深い内容だったので、保護者の方が一緒に聞いてもよいと思う。今年度は無理だったが、コロナが収まれば、試食もできるようになる。
- ・学習支援に来ていただいた地域の方は、来てよかったという声が多かった。
- ・地域の方による学習支援の内容を学校だよりで知らせているが、授業参観の時に学習支援を計画する等、別の方法で発信していくとさらによいと思う。
- ・継続して学習支援をすることで、子供たちとの関係も深まり良かった。

今年度、地域の方々のご協力のおかげで、学習支援に対する大きな一歩を踏み出すことができました。本当にありがとうございました。

今年度の成果や課題、また、学校運営協議会委員様からのご意見を生かし、来年度は、さらに地域の方とのつながりを深められるような学習支援ができればと考えております。この学習支援が、地域・保護者・学校が一体となって子供を見守り育てる一助となることできればと思います。来年度もお力添えをお願いいたします。

■ 学校評価

年度当初に成果指標（数値目標）を立てて1年間取り組んできた6つの取組がどうだったのかについて、学校評議員の皆様にご意見をいただきました。



【学力の向上】

- ・校内研の取組を中心に授業改善がなされた結果が学習状況調査の数値に表れていた。
- ・タブレット使用が学力向上の原動力となる意欲の高まりにつながっていると思う。
- ・成果指標（数値目標）設定の妥当性について再考したほうが良いのではないかな。

【心の教育】

- ・縦割り活動は、思いやりや助け合いの心を育てると思うので、今後も継続してほしい。
- ・アンケート後の児童への対応、保護者への対応、校内での情報共有が良くなされている。
- ・キャリアパスポートの12年後の成果を願っている。

【健康・体づくり】

- ・コロナ禍の中、運動不足になりがちであるが、外遊びをよくしており素晴らしい。
- ・早寝について、保護者への周知が必要である。

【業務改善・教職員の働き方改革の推進】

- ・ペーパーレスや業務改革は必須であると思う。
- ・先生方の意識改革が成果指標に到達したことは評価できる。

【特別支援教育の充実】

- ・地域、学校、保護者が一体となって子供たちを育ていく社会を目指していきたい。

【地域連携の充実】

- ・保護者アンケートで「だいたいそう思う」が多いので学校の取組の様子を積極的に発信して方が良いのではないかな。



【話合いの様子】

今年度の学校評価を来年度に生かし、子供たちの学力・体力・心をさらに伸ばしていけるように努めて参りたいと思います。

地域住民の皆様には、登下校の際の見守りや学習支援など、1年間ご支援いただき、心より感謝申し上げます。地域の方々の温かい言葉かけや眼差しのおかげで、若基小学校の子供たちは、いつも優しく穏やかな表情で学校生活を送ることができています。これからも「地域とともにある学校」を目指して教育活動を実践していきたいと思います。今後ともご協力のほどお願いいたします。

















